

2023年度通常総会資料

日 時 2023年2月18日（土）

場 所 明治屋ホール
 会員各位のご自宅等

一般社団法人 札幌農学同窓会東京支部

2022年2月18日

一般社団法人 札幌農学同窓会東京支部

2023年度通常総会議事次第

1. 開 会

2. 理事長挨拶

3. 議事録署名人の選出

4. 審議事項

- (1) 第1号議案 2022年度事業報告
及び収支決算・監査報告 P. 2～7
- (2) 第2号議案 2023年度事業計画（案）及び収支予算（案） P. 8～12
- (3) その他

5. 報告事項

- (1) 2023年度東京支部役員（理事・監事・顧問） P. 13
- (2) 会費納入状況（年度別、支部別）、東京支部納入率 P. 14～15
- (3) 2023年度東京支部講演会について
日 時：2023年2月18日（日） 11時00分～12時15分

場 所：明治屋ホール、会員各位のご自宅等（Zoom 接続）

講師：北海道大学ディスティングイッシュュトプロフェッサー

同 大学院農学研究院副研究院長 野口 伸 先生

野口 伸先生のプロフィール P. 16

演題：『農業の未来を拓くロボティクス技術（仮題）』

6. 閉 会

※ 閉会后、講演会に会場参加された会員のうち希望者で昼食会を実施

第1号議案

一般社団法人 札幌農学同窓会東京支部 2022年度事業報告

新型コロナウイルス感染の状況を見極めつつ、行事開催形式を検討しながら行った。
2022年度における事業の実施状況は次のとおりである。

1. 通常総会の開催

対面方式での開催は無理であるとの判断のもとに、2月27日（日）14時00分より、オンライン（Zoom）方式により通常総会を開催。2021年度の事業報告及び収支決算報告、監査報告、2022年度の事業計画案及び収支予算案、東京支部規程細則の改定案、東京支部役員・顧問の選任について審議を行った。

2. 理事会の開催

2月6日（日）、4月24日（日）、9月4日（日）、11月20日（日）の計4回、何れもオンライン（Zoom）会議により開催し、2022年度通常総会の議事事項、支部運営、オンラインシステムの活用等について審議した。

3. 講演会の開催

1) 第1回講演会

2月27日（日）、通常総会に引き続きオンライン（Zoom）方式により、北海道大学理事・副学長（国際、SDGs担当）横田篤先生（1979年農芸化学科卒・1984年農芸化学専攻博士課程修了）を講師として招聘し講演会を開催した。演題は「北大発展の歴史とSDGsの推進に向けた取り組みについて」として、札幌農学校を起点とする大学の特長を活かしてSDGs達成への貢献を目指す取り組みについて紹介いただいた。参加者は57名であった。

（4月28日にイギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education」が公表した「THE インパクトランキング」（気候変動に対する活動やジェンダーの平等、健康と福祉など、大学の社会貢献の取り組みを国連のSDGsの枠組みを使って評価）では、北大が総合世界10位（国内1位）になるとともに、SDGs2（飢餓をゼロに）で世界1位など、17の目標のうち6つの目標で世界100位以内にランクイン。）

2) 第2回講演会

10月21日（金）学士会館（東京都千代田区）において、北大獣医学部同窓会関東支部との共催、北大東京同窓会後援により、松浦善治氏（大阪大学感染症総合教育研究拠点長、前大阪大学微生物病研究所長・教授）を講師として招聘し、「ウイルスと生きる」の演題で、新型コロナウイルス感染症ワクチンの開発研究の現状と課題などコロナ感染症関係の話題を提供いただいた。参加者は、40名（うち農学部9名）であった。

4. 「女性同窓生オンラインお茶会」の開催

女性会員向けの行事として適宜実施することとしていたが、新型コロナ感染状況等の事情から、今年度は開催に至っていない。

5. 修了・卒業祝賀会への支部代表の派遣

3月24日（木）の修了・卒業祝賀会に別所智博氏（東京支部理事・1981年農芸化学科卒）を東京支部代表として派遣の予定であったが、行事は中止となった。

6. 関西支部主催「市民公開フォーラム」への支部役員派遣

毎年6月開催の「市民公開フォーラム」に東京支部役員を派遣する予定であったが、新型コロナの感染状況を踏まえ、東京支部からの役員派遣は行わなかった。

7. 「札幌 アルムニ レクチャー」への講師派遣

北大農学研究院主催「札幌 アルムニ レクチャー」への東京支部からの講師派遣については、行事が中止となったため、代表派遣者の人選は行わなかった。

8. 英文 Bushido 等の寄贈活動

農学部に進学する「新渡戸カレッジ」の学生および院生（合計約30名）を対象として、新渡戸稲造の世界的な名著である「Bushido」、内村鑑三の「代表的日本人」「後世への最大遺物」を寄贈する事業は、コロナ禍に対する大学の対応状況を踏まえ、昨年度に続き休止した。

9. 札幌農学校普及委員会の活動

「札幌農学校」の出版助成・普及頒布事業については入学・進学時の学生、院生を対象として毎年4月に一括寄贈してきたが、コロナ禍に対する大学の対応状況を踏まえ、昨年度に続き休止した。

今後の事業再開に向けて、本部からの交付金を有効利用し、5月に1000冊増刷するとともに、10月には、本部松井理事長からの要請に基づき、「札幌農学校」100冊を関西支部に寄贈し、普及を図った。

10. 企画・交流委員会の活動

企画・交流委員会については、企画委員会と組織委員会とを統合・改称し2022年度に発足した。講演会等の企画、講師候補者の選定、支部代表の派遣候補者を検討するとともに、若手会員や女性会員の拡充を図るよう、農学部の特徴を生かした新規行事の企画を検討することを役割とするが、コロナ禍により各種行事が中止、延期となる中、実質活動は、獣医学部同窓会との共催講演会開催への協力などの限られたものとなった。

11. 情報委員会の活動

コロナ感染禍の影響でオンラインでの行事開催が増えて来た中で、東京同窓会

情報処理委員会と連携を図り、メールマガジン配信を活用してホームページへの行事案内掲載や出席者データの集積、整理などを行った。

1 2. 会員名簿の整備

東京支部会員について主に行事案内ハガキによる移動・消息の把握に努め、「札幌農学同窓会会員名簿」の正確性の強化に貢献した。

1 3. 懇親会

総会、講演会等が対面方式での開催が出来ず、そのため懇親会も実施出来なかった。

1 4. 会員交流サロンの設置

札幌農学同窓会東京支部会員が自由に参加し、情報交換、意見交換を行う場として、「会員交流サロン」をオンラインで設置する予定であったが、コロナ禍のため設置には至っていない。

1 5. その他

限られた活動範囲であったが、他の各種関係団体との連携を図った。

2022 年度 収支決算
(2022 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

【一般会計】

(単位：円)

科目	2022年度 予算額	2022年度 決算額	備考
I 収入の部			
1 交付金	2,200,000	2,200,000	2022年3月4日開催の札幌農学同窓会総会に付議
2 寄付金	0	-	
3 利息	30	38	
4 前年度繰越	3,785,125	3,785,125	
収入合計	5,985,155	5,985,163	
II 支出の部			
1 事務諸費	260,000	168,893	
(1) 消耗品費	50,000	-	
(2) 通信運搬費	50,000	44,501	
(3) 外注費	70,000	19,987	テープ起こし
(4) 会議費	60,000	77,110	事務局引継会議費, Zoom契約料
(5) 雑費	30,000	27,295	「フロンティア」誌への広告賛助及び北大関西同窓会の年会費他
2 事業活動費	3,870,000	1,457,112	
(1) 諸謝金	120,000	22,274	講演会等の講師謝礼
(2) 資料作成印刷費	370,000	163,647	総会案内はがき印刷、宛名シール
(3) 通信運搬費	600,000	202,049	総会案内はがき発送
(4) 借料	550,000	45,942	獣医学部との共催講演会会場費
(5) 名簿関係費	30,000	-	メール配信システムの構築費用
(6) 交通費	400,000	20,000	支部会合の日額旅費
(7) 出版・領布関係費	1,200,000	935,000	「札幌農学校」増刷
(8) 英文Bushido等寄贈	200,000	-	農学部へ進学する新渡戸カレッジの学生及び新渡戸スクールの院生を対象
(9) ホームページ運営費	400,000	68,200	更新管理費
3 予備費	6,000	-	
支出合計	4,136,000	1,626,005	
III 当期収支差額	1,849,155	4,359,158	

2022 年度 収支決算
(2022 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

【特別会計】

(単位：円)

科目	2022年度 予算額	2022年度 決算額	備考
I 収入の部			
1 懇親会等会費	200,000	0	
(1)通常総会	0	0	
(2)講演会	200,000	0	
2 利息	0	0	
3 前年度繰越	82,686	82,686	
収入合計	282,686	82,686	
II 支出の部			
1 懇親会等経費	200,000	0	
(1)通常総会	0	0	
(2)講演会	200,000	0	
2 振込手数料	1,000	0	
支出合計	201,000	0	
III 当期収支差額	81,686	82,686	

監 査 報 告

一般社団法人札幌農学同窓会東京支部の2022年度の事業報告及び収支に関する決算書類を監査した結果、その内容は適正であると認める。

2023年1月14日

監事 大島 稔彦 

監事 坂倉 雅夫 

第 2 号議案

一般社団法人 札幌農学同窓会東京支部 2023 年度事業計画（案）

新型コロナウイルス感染の状況を見極めながら、札幌農学同窓会東京支部は会員相互の交流及び知識の向上を図るため、2023 年度において次の事業を行う。

1. 通常総会の開催

2023 年 2 月 18 日（土）10 時 30 分から、明治屋ホールにおける対面方式による会議とオンライン（Zoom）会議を組み合わせで開催する予定。

2. 理事会の開催

2023 年 1 月 29 日（日）10 時 00 分から、オンライン（Zoom）会議により第 1 回理事会を開催し、通常総会の準備を行った。今後、オンライン方式での開催を基本としつつ、新型コロナウイルス感染の状況を見極めながら、必要に応じて対面方式での開催も組み合わせ、概ね 2 ヶ月毎に適宜開催する。

3. 講演会の開催

会員への情報提供の機会として、時宜に適したテーマによる講演会を実施する。

- ① 例年 2 月の通常総会後に講演会を行っており、昨年度はオンライン（Zoom）方式で開催したが、今年は、通常総会と同様に対面方式とオンライン方式を組み合わせで開催する。

2 月 18 日（土）11 時から、北海道大学大学院農学研究院副研究院長・ディスティングイッシュトプロフェッサー 野口 伸先生（1985 年北大農業工学科卒・1990 年北大大学院農業工学専攻博士課程修了）を講師として講演会を行う。演題は『農業の未来を拓くロボティクス技術（仮題）』の予定。

- ② 東京支部として会員への情報発信を充実するため、講師、演題、時期等を勘案し、適宜講演会を実施する。

- ③ 秋季に時宜に相応しいテーマで獣医学部同窓会との共催講演会を実施する。

4. 「女性同窓生オンラインお茶会」の開催

女性会員向けの行事として継続し、適宜の間隔で開催する。

5. 修了・卒業祝賀会への支部代表の派遣

3 月 23 日（木）に予定されている修了・卒業祝賀会に、要請があれば、東京支部代表を派遣する。

6. 関西支部主催「市民公開フォーラム」への支部役員派遣

毎年6月開催の「市民公開フォーラム」は、6月17日（土）に開催が予定されており、東京支部役員を派遣する予定。なお、最終的には、新型コロナ感染の状況を踏まえ、派遣を決定する。

7. 「札幌 アルムニ レクチャー」への講師派遣

北大農学研究院主催「札幌 アルムニ レクチャー」は開催時期、規模等について検討が行われており、今後の開催見込みに応じて、東京支部代表の派遣を検討する。

8. 英文 Bushido 等の寄贈活動

農学部に進学する「新渡戸カレッジ」の学生および院生（合計約30名）を対象として、新渡戸稲造の世界的な名著である「Bushido」、内村鑑三の「代表的日本人」「後世への最大遺物」を寄贈する。

9. 札幌農学校普及委員会の活動

「札幌農学校」出版助成・普及頒布事業として、昨年度の増刷分を有効に利用し、入学・進学時の学生、院生を対象として毎年4月に一括寄贈し、今後も同著書の普及頒布活動を継続していく。

10. 企画・交流委員会の活動

講演会等の企画、講師候補者の選定、支部代表の派遣候補者を検討するとともに支部活動の活性化は若手会員の増加が基本との考えに立って、特に平成卒会員と女性会員の拡充を図るよう、継続して東京同窓会等主催の各種行事の機会を利用して勧誘していくことに加え、農学部の特色を生かした新規行事の企画を検討する。

11. 情報委員会の活動

東京同窓会情報処理委員会と連携を図り、札幌農学同窓会東京支部ホームページの充実を図る。今後、新型コロナへの対応や会員への情報発信の充実を図るため、オンライン行事の開催や資料の電子化等、IT活用を進める必要があることから、適切な運用体制の構築を進める。さらに、東京支部会員のメールアドレス登録数の拡大と、郵便からメールマガジン配信への転換を進めるとともに、会員名簿整備のため本部情報担当理事との連携を強化する。

12. 会員名簿の整備

東京支部会員について行事案内ハガキによる移動・消息の把握に努め、「札幌農学同窓会員名簿」の正確性の向上に努める。

13. 懇親会

新型コロナの感染状況等を踏まえ、可能な場合、講演会の開催機会を利用して懇親会を行う。

2月18日（土）に開催される通常総会後の講演会については、会場で参加される会員のうち希望者を対象に昼食会形式での懇談の場を設ける。

1 4．会員交流サロンの設置

札幌農学同窓会東京支部会員が自由に参加し、情報交換、意見交換を行う場として、「会員交流サロン」をオンラインで設置する。

1 5．その他

他の各種関係団体との連携を図る。

2023 年度 収支予算（案）
（2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日）
【一般会計】

（単位：円）

科目	2022年度 予算額	2022年度 決算額	2023年度 予算額	備考
I 収入の部				
1 交付金	2, 200, 000	2, 200, 000	2, 200, 000	本部からの交付金
2 寄付金	0	0	0	
3 利息	30	38	40	
4 前年度繰越	3, 785, 125	3, 785, 125	4, 359, 158	
収入合計	5, 985, 155	5, 985, 163	6, 559, 198	
II 支出の部				
1 事務諸費	260, 000	168, 893	280, 000	
(1) 消耗品費	50, 000	0	50, 000	
(2) 通信運搬費	50, 000	44, 501	50, 000	
(3) 外注費	70, 000	19, 987	70, 000	テープ起こし費用等
(4) 会議費	60, 000	77, 110	80, 000	会場費、Zoom費用等
(5) 雑費	30, 000	27, 295	30, 000	「フロンティア」誌への広告賛 助及び北大関西同窓会の年会費 他
2 事業活動費	3, 870, 000	1, 457, 112	3, 910, 000	
(1) 諸謝金	120, 000	22, 274	180, 000	講演会等の講師謝礼
(2) 資料作成印刷費	370, 000	163, 647	550, 000	総会・講演会等の資料
(3) 通信運搬費	600, 000	202, 049	900, 000	総会・講演会等の案内
(4) 借料	550, 000	45, 942	850, 000	支部会合の会場費
(5) 名簿関係費	30, 000	0	30, 000	メール配信システムの構築費用
(6) 交通費	400, 000	20, 000	600, 000	講師招聘旅費、役員派遣旅費、 支部会合の日額旅費
(7) 出版・領布関係費	1, 200, 000	935, 000	200, 000	「札幌農学校」の普及領布関係 費
(8) 英文Bushido等寄贈	200, 000	0	200, 000	農学部へ進学する新渡戸カレッジの 学生及び新渡戸スクールの院生を対 象
(9) オンライン化関係経費	400, 000	68, 200	400, 000	ホームページ更新経費、オンラ イン会議運営経費等
3 予備費	6, 000	0	6, 000	
支出合計	4, 136, 000	1, 626, 005	4, 196, 000	
III 当期収支差額	1, 849, 155	4, 359, 158	2, 363, 198	

2023 年度 収支予算（案）
（2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日）
【特別会計】

（単位：円）

科目	2022年度 予算額	2022年度 決算額	2023年度 予算額	備考
I 収入の部				
1 懇親会等会費	200,000	0	580,000	
(1)通常総会	0	0	100,000	2500円×40名
(2)講演会	200,000	0	480,000	6000円×40名×2回
2 利息	0	0	0	
3 前年度繰越	82,686	82,686	82,686	
収入合計	282,686	82,686	662,686	
II 支出の部				
1 懇親会等経費	200,000	0	580,000	
(1)通常総会	0	0	100,000	昼食会
(2)講演会	200,000	0	480,000	講演会開催時の懇親会2回分
2 振込手数料	1,000	0	1,000	
支出合計	201,000	0	581,000	
III 当期収支差額	81,686	82,686	81,686	

(参考1)

札幌農学同窓会東京支部役員(2023年度体制)

現 人 数	役 職		氏 名	学 科	卒 業 年		在任 期間	備 考	
1	役 員	理 事	理事長	櫻田 巧	農業経済	S58	1983	16	本部理事
2			副理事長 総務・会計、普及委員会担当	別所 智博	農芸化学	S56	1981	2	本部代議員
3			副理事長 情報、企画・交流委員会担当	高木 忍	農芸化学	S58	1983	7	
4			総務・会計委員長(事務局長)	尾嶋 好美	畜産	H05	1993	6	本部代議員
5			総務・会計委員会(会計)	榎 裕之	森林科学	H09	1997	5	
6			総務・会計委員会(会計)	石井 貴史	森林科学	H26	2014	1	
7			総務・会計委員会(事務局)	日向 潔美				1	
			総務・会計委員会(事務局)						
8			札幌農学校普及委員長	山本 幸一	林産	S49	1974	12	本部代議員
9			札幌農学校普及委員会	春名 敏弘	農業経済	S47	1972	7	
			札幌農学校普及委員会						
			札幌農学校普及委員会						
			札幌農学校普及委員会						
10			情報委員長	溝口 尚重	農学	H07	1995	7	本部代議員
11			情報委員会	石崎 英治	森林科学	H12	2000	2	本部代議員
12			情報委員会	水上 裕之	農芸化学	S54	1979	3	
			情報委員会						
			情報委員会						
13			企画・交流委員長	高橋 寛	農業工学	S62	1987	8	本部代議員
14			企画・交流委員会	西野 順子	農芸化学	S62	1987	7	本部代議員
15			企画・交流委員会	関口 高士	林学	H02	1990	3	
16			企画・交流委員会	ブエ 真奈美	畜産	H04	1992	1	
			企画・交流委員会						
1	監 事			大島 稔彦	農業生物	S45	1970	10	
2			事務局引継ぎを兼ねる	坂倉 雅夫	農業工学	S48	1973	23	
理 事 会 参 加	非役 員	顧 問	会計及び札幌農学校引継ぎ	桜庭 慎吾	農芸化学	S35	1960		
			助言	松沢 幸一	農芸化学	S46	1971		本部監事
			本部情報伝達	梶谷 辰哉	林学	S50	1975		本部相談役

(参考2) 会費納入状況

会 費 納 入 状 況 (年度別、支部別)

年度	全 体					東京支部			関西支部		
	全会員数	住所不詳者	差引	会費納入者	会費納入率	全会員数	会費納入者	会費納入率	全会員数	会費納入者	会費納入率
17	13,526	3,423	10,103	2,344	23.20%	3,751	876	23.35%	627	123	19.62%
18	13,692	3,811	9,881	2,116	21.41%	3,624	784	21.63%	607	109	17.95%
19	13,705	4,006	9,699	2,182	22.49%	3,572	807	22.59%	593	110	18.54%
20	13,658	4,218	9,440	2,096	22.20%	3,511	802	22.84%	564	118	20.92%
21	14,107	4,925	9,182	2,009	21.87%	3,441	744	21.62%	534	117	21.91%
22	14,257	5,264	8,993	1,860	20.68%	3,362	683	20.31%	525	99	18.85%
23	14,392	5,431	8,961	1,835	20.47%	3,341	678	20.29%	535	107	20.00%
24	14,546	5,610	8,936	1,725	19.30%	3,350	604	18.03%	552	99	17.93%
25	14,695	5,737	8,958	1,669	18.63%	3,326	612	18.40%	565	88	15.57%
26	14,861	5,685	9,176	1,701	18.53%	3,400	614	18.05%	611	107	17.51%
27	14,970	5,606	9,364	1,708	18.24%	3,476	645	18.55%	650	109	16.76%
28	15,105	5,810	9,295	1,681	18.08%	3,447	621	18.01%	652	107	16.41%
29	15,247	5,998	9,249	1,609	17.39%	3,465	579	16.70%	661	117	17.70%
30	15,375	6,146	9,229	1,648	17.85%	3,415	591	17.30%	677	114	16.84%
2019	15,535	6,406	9,129	1,533	16.79%	3,362	538	16.00%	676	106	15.68%
2020	15,663	6,665	8,998	1,537	17.08%	3,335	542	16.25%	676	107	15.82%
2021	15,826	6,917	8,909	1,634	18.34%	3,311	594	17.94%	674	117	17.35%
2022	15,970	7,265	8,705	1,819	20.89%	3,258	704	21.60%	661	140	21.18%

注1) 「会費納入者」には、5年まとめ払いなどにより過年度に納入済みの会員を含む。

注2) 基準日が、年度により、同窓会員名簿作成時(10月)或いは年度末(12月末)と異なっている。

また、特別会員を除いて計算した年度もあるため、あくまで参考資料とする。

(参考3) 東京支部会費納入状況

東京支部納入率（2022年12月31日 現在）

	県名	自宅	勤務先	自宅+勤務先	自宅納入者	勤務先納入者	納入者(自+勤)	納入率
1	新潟県	52	2	54	8	0	8	14.81%
2	長野県	75	6	81	14	1	15	18.51%
3	茨城県	237	39	276	49	3	52	18.84%
4	群馬県	60	5	65	11	1	12	18.46%
5	栃木県	97	4	101	20	0	20	19.80%
6	埼玉県	386	14	400	86	0	86	21.50%
7	千葉県	426	9	435	98	1	99	22.75%
8	東京都	889	148	1037	212	12	224	21.60%
9	神奈川県	572	23	595	138	1	139	23.36%
10	山梨県	32	1	33	10	0	10	30.30%
11	静岡県	169	12	181	39	0	39	21.54%
12G		2995	263	3258	685	19	704	21.60%

野 口 伸 先 生 の プ ロ フ ィ ー ル

野 口 伸（のぐち のぼる）

略 歴

- 1985 年 北海道大学農学部農業工学科卒業
- 1990 年 北海道大学大学院農学研究科博士課程修了
- 1990 年 北海道大学農学部助手
- 1997 年 北海道大学大学院農学研究科助教授
- 1997 年～1998 年
米国イリノイ州立大学農業工学科留学
- 2004 年 北海道大学大学院農学研究院教授
- 2016 年～2019 年
内閣府戦略的イノベーション創造プログラム第 1 期
「次世代農林水産業創造技術」プログラムディレクター
- 2017 年 日本環境生物工学会 理事長
- 2020 年 北海道大学農学研究院 副研究委員長
- 2021 年 北海道大学ディスティングイッシュトプロフェッサー ※
- 2021 年 日本農業工学会 会長

※ ディスティングイッシュトプロフェッサー

人格が高潔で、世界水準の優れた研究業績を有し、今後さらなる研究の進展が見込まれるとともに、北海道大学の名誉を著しく高めることが期待できる教員等に付与される称号（平成 26 年創設）

専門分野

農業環境工学、農業情報工学

ロボットトラクタなどスマート農業研究では、我が国の第一人者。

特記事項

小説『下町ロケット ヤタガラス』（池井戸潤著）に取材協力し、登場人物である「北海道農業大学野木教授」のモデルになるとともに、テレビドラマ化の技術監修を務められた。